資料2

令和６年度の取組実績及び令和７年度の取組予定について

令和７年６月５日

静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会幹事会

静岡県東部地域の減災に係る取組方針について

「静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会」（以下「協議会」）は、洪水氾濫や土砂災害による被害を軽減するためのハード・ソフト対策を総合的かつ一体的に推進するために設立された。

本協議会では、東部地域における水害の特徴や課題、これまでの取組の進捗状況等を踏まえ、令和3 年度から7年度までに、命を守るための円滑かつ迅速な避難、氾濫発生後の社会機能の早期回復等、大規模氾濫時の減災対策として各構成機関が計画的・一体的に取り組む事項について、**「静岡県東部地域の減災に係る取組方針」**としてとりまとめた。

■減災のために達成すべき目標

東部地域の豪雨災害に対し、地形・社会特性を踏まえ

- **●住民の防災意識の向上**
- **●逃げ遅れによる人的被害をなくすこと**
- **●氾濫発生後の社会機能の早期回復**

を目指す。

目標達成に向け、東部地域において、3本柱に基づく7つの重点取組事項を設定し、目標達成に向けた取組を実施している。

3本柱：（1）～（3）
7つの重点取組事項：①～⑦

（1）地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取組

① 防災教育等の推進

（2）地域住民の確実な避難のためのの取組

② 洪水時における情報提供の充実

③ 広域避難体制の構築

④ 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の促進

（3）洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動・復旧活動等の取組

⑤ 水防団（消防団）の組織強化

⑥ 水防活動の充実

⑦ 治水施設整備等の促進

概ね5年で実施する取組

国土交通省がとりまとめた「緊急行動計画（平成31年1月改定）」を基本とし、地域特有の課題を踏まえ、概ね5年で実施する取組を設定した。また、各取組における対象機関を定めている。

	取組項目	重点取組事項
（1）関係機関の連携体制		
1	大規模氾濫減災協議会等の設置	―
（2）円滑かつ迅速な避難のための取組		
①情報伝達、避難計画等に関する事項		
2	洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）	②洪水時における情報提供の充実
3	避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認（タイムライン）	②洪水時における情報提供の充実
4	多機関連携型タイムラインの拡充	②洪水時における情報提供の充実
5	水害危険性の周知促進	②洪水時における情報提供の充実
6	ICT等を活用した洪水情報の提供	②洪水時における情報提供の充実
7	危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理	②洪水時における情報提供の充実
8	洪水予測や河川水位の状況に関する解説	②洪水時における情報提供の充実
9	防災施設の機能に関する情報提供の充実	②洪水時における情報提供の充実
10	ダム放流情報を活用した避難体系の確立【対象外】	②洪水時における情報提供の充実
11	土砂災害警戒情報を補足する情報の提供	②洪水時における情報提供の充実
12	避難計画作成の支援ツールの充実	②洪水時における情報提供の充実
13	隣接市町村における避難場所の設定（広域避難体制の構築）等	③広域避難体制の構築
14	要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施	④要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の促進
②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項		
15	浸水想定区域の早期指定、浸水想定区域図の作成・公表等	②洪水時における情報提供の充実
16	ハザードマップの改良、周知、活用	②洪水時における情報提供の充実
17	浸水実績等の周知	②洪水時における情報提供の充実
18	ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実	②洪水時における情報提供の充実
19	災害リスクの現地表示	②洪水時における情報提供の充実
20	防災教育の促進	①防災教育等の推進
21	避難訓練への地域住民の参加促進	①防災教育等の推進
22	共助の仕組みの強化	①防災教育等の推進
23	住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	①防災教育等の推進
24	地域防災力の向上のための人材育成	①防災教育等の推進
③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項		
25	洪水予測や水位情報の提供の強化	②洪水時における情報提供の充実
26	決壊までの時間を少しでも引き延ばす堤防構造の工夫（危機管理型ハード対策）	⑦治水施設整備等の促進
27	避難路、避難場所の安全対策の強化	⑦治水施設整備等の促進
28	応急的な退避場所の確保	⑦治水施設整備等の促進
29	河川防災ステーションの整備	⑥水防活動の充実

	取組項目	重点取組事項
（3）被害軽減の取組		
①水防体制に関する事項		
30	重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	⑥水防活動の充実
31	水防に関する広報の充実（水防団員確保に係る取組）	⑤水防団（消防団）の組織強化
32	水防訓練の充実	⑥水防活動の充実
33	水防関係者間での連携、協力に関する検討	⑤水防団（消防団）の組織強化
②多様な主体による被害軽減対策に関する事項		
34	市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	②洪水時における情報提供の充実
35	市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電等の整備）	②洪水時における情報提供の充実
36	早期復興を支援する事前の準備	⑦治水施設整備等の促進
（4）氾濫水の排除、浸水被害軽減に関する取組		
37	排水施設、排水資機材の運用方法の改善	⑦治水施設整備等の促進
38	排水設備の耐水性の強化	⑦治水施設整備等の促進
39	浸水被害軽減地区の指定	⑦治水施設整備等の促進
40	庁舎等の防災拠点の強化	⑦治水施設整備等の促進
（5）防災施設の整備等		
41	堤防等河川管理施設の整備（洪水氾濫を未然に防ぐ対策）	⑦治水施設整備等の促進
42	本川と支川の合流部等の対策	⑦治水施設整備等の促進
43	多数の家屋や重要施設等の保全対策	⑦治水施設整備等の促進
44	流木や土砂の影響への対策	⑦治水施設整備等の促進
45	土砂・洪水氾濫への対策	⑦治水施設整備等の促進
46	ダム等の洪水調節機能の向上・確保【対象外】	⑦治水施設整備等の促進
47	重要インフラの機能確保	⑦治水施設整備等の促進
48	樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	⑦治水施設整備等の促進
49	河川管理の高度化の検討	⑦治水施設整備等の促進
（6）防災・減災に関する国の支援		
50	水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	⑦治水施設整備等の促進
51	代行制度による都道府県に対する技術支援	⑦治水施設整備等の促進
52	適切な土地利用の促進	⑦治水施設整備等の促進
53	災害時及び災害復旧に対する支援	⑦治水施設整備等の促進
54	災害情報の地方公共団体との共有体制強化	⑦治水施設整備等の促進

■：狩野川流域において対象外の取り組み

本資料に掲載している取組一覧

★：令和6年度の取組実績
○：令和7年度の取組予定
●：令和6年度の取組実績＆令和7年度の取組予定

取組番号	沼津市	三島市	御殿場市	裾野市	伊豆市	伊豆の国市	函南町	清水町	長泉町	小山町	駿東伊豆消防本部	富士山南東消防本部	御殿場・小山消防本部	警察本部	陸上自衛隊	伊豆箱根鉄道	静岡地方気象台	沼津河川国道事務所	静岡県危機管理部	静岡県東部地域局	静岡県河川砂防局	沼津土木事務所	静岡県政策管理局
取01																							
取02																					○		
取03																							
取04																							
取05															●						★		
取06		●																	●				
取07																							
取08																							
取09																							
取10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
取11																							
取12																							
取13																							
取14	●																						●
取15								★															
取16							●	○															
取17																							
取18																							
取19																							
取20			○	○	●	●			●	★								●		●	●		
取21																							
取22																							
取23						●													●				
取24																							
取25	○	★															●						
取26																							
取27																							

本資料に掲載している取組一覧

★：令和6年度の取組実績
○：令和7年度の取組予定
●：令和6年度の取組実績＆令和7年度の取組予定

取組番号	沼津市	三島市	御殿場市	裾野市	伊豆市	伊豆の国市	函南町	清水町	長泉町	小山町	駿東伊豆消防本部	富士山南東消防本部	御殿場・小山消防本部	警察本部	陸上自衛隊	伊豆箱根鉄道	静岡地方気象台	沼津河川国道事務所	静岡県危機管理部	静岡県東部地域局	静岡県河川砂防局	沼津土木事務所	静岡県政策管理局
取28																							
取29																						★	
取30																							
取31																							
取32			★	★			●			○	●	●	●			●							
取33											●	●		●									
取34																							
取35																							
取36																							
取37	★																	★					
取38																							
取39																							
取40																							
取41								●										○					
取42																							
取43																							
取44																							
取45																							
取46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
取47																							
取48								○														○	
取49																							
取50																							
取51																							
取52																							
取53																							
取54																							

令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【沼津市】

令和６年度取組実績

重点取組事項：①情報伝達、避難確保計画等に関する事項
取組項目：要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施
（取組番号：１４）

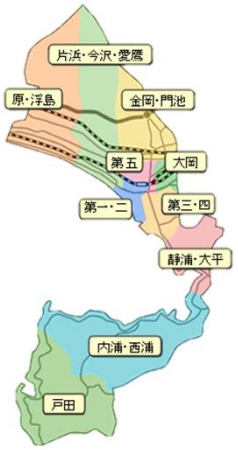
○　高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所）に対し、引き続き避難確保計画の作成及び避難訓練の実施を指導する。
○　高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所）における、早急なＢＣＰ計画策定を指導し、発災時及び発災後の施設利用対応について、体制整備を整備する。
○　水害等発災時における緊急連絡網を通じ、施設の危機管理体制状況の確認を実施する。

【大雨、台風等被害時の対応】
以下のとおり介護保険事業所等に対する被害状況照会実施。
・5/13　大雨被害状況照会実施
・5/27～5/28　大雨被害状況照会実施
・6/18　大雨被害状況照会実施
（老人介護保険施設　1件　被害報告あり）
・6/28　大雨被害状況照会実施
・8/15　台風7号被害状況照会実施
・8/22　大雨被害状況照会実施
・8/28～8/29　台風10号被害状況照会実施
・11/2　大雨被害状況照会実施

令和７年度取組予定

重点取組事項：①情報伝達、避難確保計画等に関する事項
取組項目：要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施
（取組番号：１４）

○　高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所）に対し、引き続き避難確保計画の作成及び避難訓練の実施を指導する。
○　高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所）における、早急なＢＣＰ計画策定を指導し、発災時及び発災後の施設利用対応について、体制整備を整備する。
○　水害等発災時における緊急連絡網を通じ、施設の危機管理体制状況の確認を実施する。



★避難確保計画
・指導対象施設数
84施設
・指導実施施設数　（Ｒ７）
16施設予定

★BCP計画
・指導対象施設数
150施設予定
・指導実施施設数(Ｒ７)
52施設予定

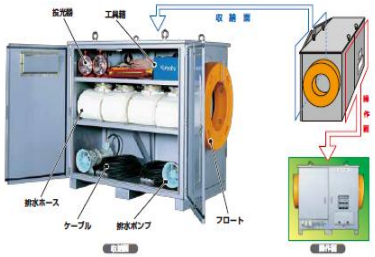
令和6年度の取組実績・令和7年度の取組予定【沼津市】 (2/2)

令和６年度取組実績

重点取組事項：⑦治水施設整備等の促進
取組項目：排水施設、排水資機材の運用方法の改善（取組番号：37）

近年の激甚化する豪雨災害に対応すべく、非常時に機動的に運用可能な排水ポンプ車及び排水ポンプパッケージを導入

排水ポンプ車（１台）
※1分間に7.5㎥排水可能なポンプを4台搭載



排水ポンプパッケージ（２台）▶
※1分間に5㎥排水可能なポンプを2台搭載（1台当たり）

R6稼働実績

◆排水ポンプ車
令和6年8月30日・31日
（大平江川流域）

◆排水ポンプパッケージ
令和6年6月18日・28日・8月30日・31日
（大平地区および西添町）

令和７年度取組予定

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実
取組項目：洪水予測や水位情報の提供の強化
（取組番号： 25）

国土交通省による実証実験へ参加し、R6年度中に市内36箇所に設置したワンコイン浸水センサに加え、株式会社明電舎沼津事業所と協働の実証実験として、13箇所に新たに浸水センサを設置
リアルタイムでの情報伝達による水防対応強化に加え、データの蓄積、分析による今後の治水対策への寄与を目的とする

ワンコイン浸水センサ
（市内36箇所（河川25・道路11））

・河川や道路の浸水 を システム上で迅速に把握することが可能
・排水機場の運転や道路の通行止めなど、災害対応や地域住民への情報発信に活かす
・R6に引き続き設置を継続し、有効性の検証にあたる

スマート浸水センサ
（市内13箇所）

・長尺を活かし、浸水以前からの水位上昇を把握
・気象庁による雨量データと共に水位データを事業所クラウドで集約し、可視化
・蓄積データの分析により、将来的な水位予測への利用とともに、浸水対策への活用を検討

令和6年度の取り組み実績・令和7年度の取り組み予定【三島市】 （1/2）

令和６年度取組実績

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実
取組項目：ICT等を活用した洪水情報の提供（取組番号：０６）

大雨や洪水などが発生した際に、国の監視システムの情報等の確認や現場の見廻りを行った上で、一級河川に繋がる樋管の開閉を判断していたが、情報収集などに要する時間を短縮し、迅速な判断ができるようにするため、令和２年度より、樋管の内水側に河川監視カメラ及び水位センサーを設置している。また、迅速な避難情報の発令のため、大雨による急激な水位状況が見込まれる中小河川に監視カメラ等を設置している。

令和6年度においては、河川等監視カメラ２基及び水位センサー２基の設置を行った。

【令和6年度に設置した監視カメラ・センサー】

令和7年度取組予定

重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実
取組項目：ICT等を活用した洪水情報の提供（取組番号：０６）

市河川監視カメラ映像及び水位センサーのデータは、パソコンやスマートフォンでの閲覧が可能であることから、浸水被害の可能性がある地域住民へ出水状況をリアルタイムで情報提供する。また、今後も監視が必要と思われる箇所へ、監視カメラ等を設置していく。

【監視場所一覧画面】

【監視画面】

令和6年度の取り組み実績・令和7年度の取り組み予定【三島市】　（2/2）

令和６年度取組実績

重点取組事項：③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項
取組項目：洪水予測や水位情報の提供の強化（取組番号：25）

【ワンコイン浸水センサ設置】
　大雨により内水や浸水が発生した際、消防団や地域住民からの情報提供や現場確認により、市内各所の内水状況を把握しており、情報収集や対応するまでに時間を要していた。
　そこで、国が実施したワンコイン浸水センサ実証実験に参加し、市内12箇所に本センサを設置した。
　本センサを設置することで、浸水状況を速やかに把握することができるため、住民への周知や現場での対応が迅速にできることに繋がる。

【令和6年度に設置した監視カメラ・センサー】

令和7年度取組予定

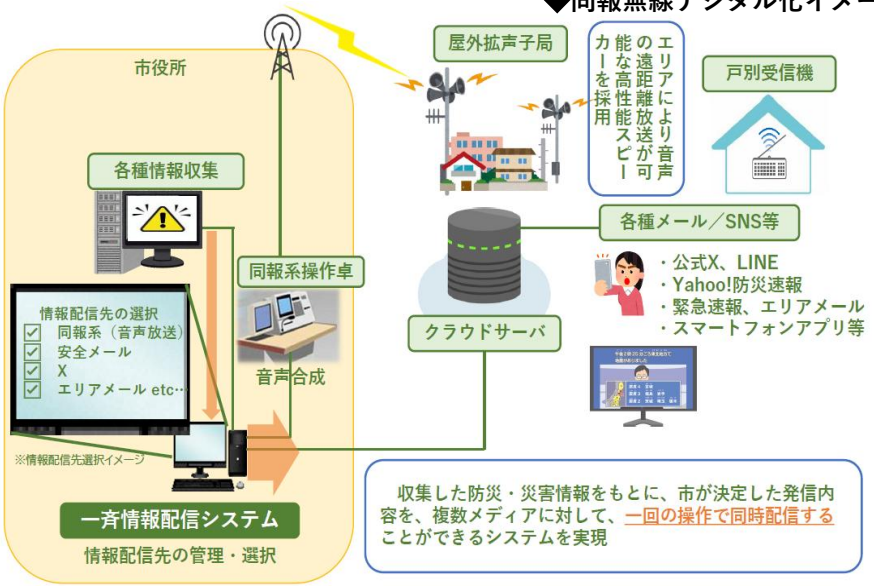
重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実
取組項目：ICT等を活用した洪水情報の提供（取組番号：０６）

【同報無線デジタル化】
　老朽化が進む同報無線について令和8年度にかけてデジタル化再整備工事を行う。収集した防災・災害情報をもとに、市が決定した発信内容を、複数メディアに対して、一回の操作で同時配信することができるシステムを実現する。また、地域の特性に応じて音声の遠距離放送が可能な高性能スピーカーを採用することで、より確実な情報伝達が可能となる。

【従来型スピーカー】

【高性能スピーカー】

⬇同報無線デジタル化イメージ



令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【御殿場市】

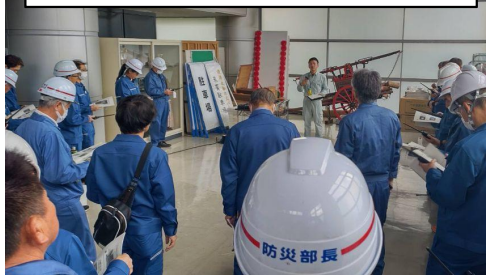
令和６年度取組実績

重点取組事項：①水防体制に関する事項
取組項目：水防訓練の充実（取組番号：32）

令和６年度では各区の自主防災会の会長・防災部長等、指導的立場にある防災役員、および消防団員に対し、風水害に対する防災力向上をねらいとする訓練を実施。土のうの作成、積み上げ工法の指導や、移動系無線機の取扱操作訓練、県の風水害イメージTENを活用した訓練を実施し、水防に関する知識・技能を付与することで、各種災害発生時、的確に対応できるよう地域防災能力の向上を図った。

訓練風景（消防団・土のう）

訓練風景（自主防災会・無線）



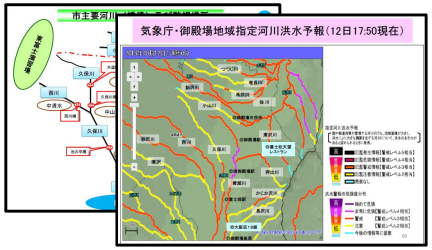
イメージTEN実施の様子

令和７年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：防災教育の促進（取組番号：２０）

令和６年度においては、約50の対象団体、のべ約4,100名の方に対して防災出前講座を実施し、そのうち約1,200名について、特に風水害への備えに関する講座を実施した。

その中でも14団体（学校、自主防災会等）に、風水害への日頃からの備えや、避難行動等について防災教育を行った。また、「わたしの避難計画」に関連した教育を行い、災害への備えとしての活用を推進した。



教育資料①

教育資料②（わたひな）

出前講座の様子①

出前講座の様子②

令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【裾野市】

令和６年度取組実績

重点取組事項：③被害軽減の取組
取組項目：水防訓練の充実（取組番号：32）

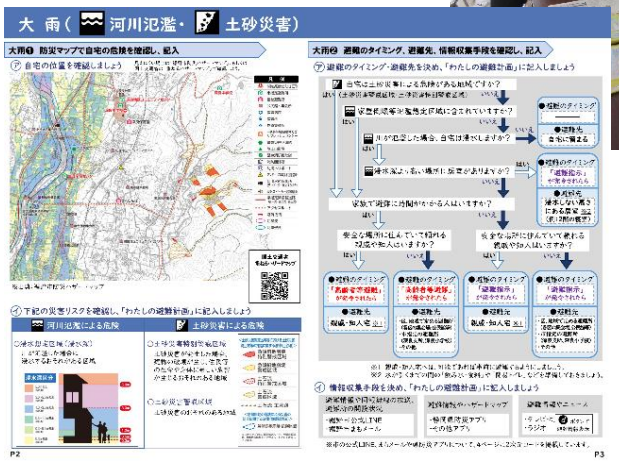
①黄瀬川に隣接し、浸水想定区域と土砂災害警戒区域を抱える桃園地区をモデル地区として、市主催による土砂災害防止・水防訓練を実施した。（6月2日）
②水防団（消防団員）を対象に、救助資機材等操作訓練を実施。自衛隊の指導による土のう積み訓練等を実施した。（9月29日）

②土のう積み訓練（9月29日：裾野消防署）

令和７年度取組予定

重点取組事項：①円滑かつ迅速な避難への取組
取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

6月に実施する土砂災害防止モデル地区訓練の場を活用し「わたしの避難計画」の普及促進を図るほか、出前講座や各種研修会の中で作成を呼びかけていく。



令和６年度の取り組み実績・令和７年度の取り組み予定【伊豆市】　（1/1）

令和６年度取組実績

重点取組事項：防災教育の促進
取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

●教育委員会と危機管理課で連携し、避難行動や避難所運営等を実践的に学び、自助・共助の必要性について考える授業を実施した。

旧修善寺中学校、旧中伊豆中学校、旧天城中学校の3中学校で実施。

DIG（災害図上訓練）
←

避難所運営訓練
（トイレブース組み立て）→

令和７年度取組予定

重点取組事項：防災教育の促進
取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

≪事業概要≫

●市内4中学校は、2年生で行う「総合的な学習の時間」を未来の防災人材育成の時間とし、ふじのくにジュニア防災士の取得までを狙った防災教育を実施している。

●教育委員会と危機管理課で連携し、避難行動や避難所運営等を実践的に学び、自助・共助の必要性について考える授業を実施する。

●若い世代のうちから救命処置の重要性を認識し、実践できる機会を設け、緊急時に迅速な対応ができる市民を育成することを目指し普通救命講習会を開催する。

（対象：伊豆中学校2年生 158名）

伊豆中学校と
慶應義塾大学が連携

≪その他≫

XR防災ラボ
最新技術を活用して地域の防災をみんなで考える

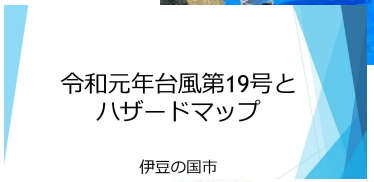
伊豆市消防団　消防フェスタに参加
中学生による市民への防災意識の高揚を図る

令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【伊豆の国市】 （1/3）

令和６年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

市内の小中学校を対象に「防災教育」の支援する。
令和６年度においては、小学校１校で段階を追って、防災マップの見方からクロスロード等を活用し、全５項目の講座を実施し、ふじのくにジュニア防災士の認定を受けた。また、中学校２校で防災講座（狩野川台風と令和元年台風１９号との比較）と土のう作りを実施し、水害への備えや避難行動等について考える講座を実施。



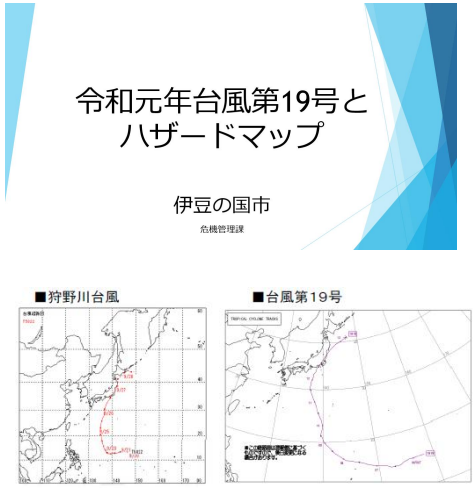
中学校防災講座

小学校防災講座

令和７年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

昨令和７年度についても市内の小中学校を対象に「防災教育」の支援する。
令和７年度においても小学校１校で段階を追って、防災マップの見方からクロスロード等を活用し、全５項目の講座を実施し、ふじのくにジュニア防災士の認定を受ける。また、中学校１校で防災講座（狩野川台風と令和元年台風１９号との比較）と土のう作りを実施し水害への備えや避難行動等について考える講座を実施。



中学校防災講座

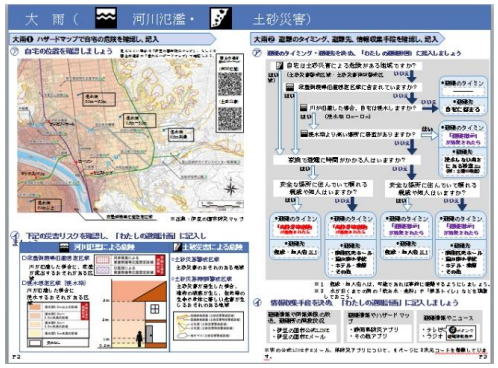
令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【伊豆の国市】

令和６年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：住民一人ひとりの避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

浸水想定区域内にある市内11地区へ「わたしの避難計画」の作成支援（ワークショップ）を行い、普及展開し早期避難を意識づける取り組みを行った。

ワークショップ実施

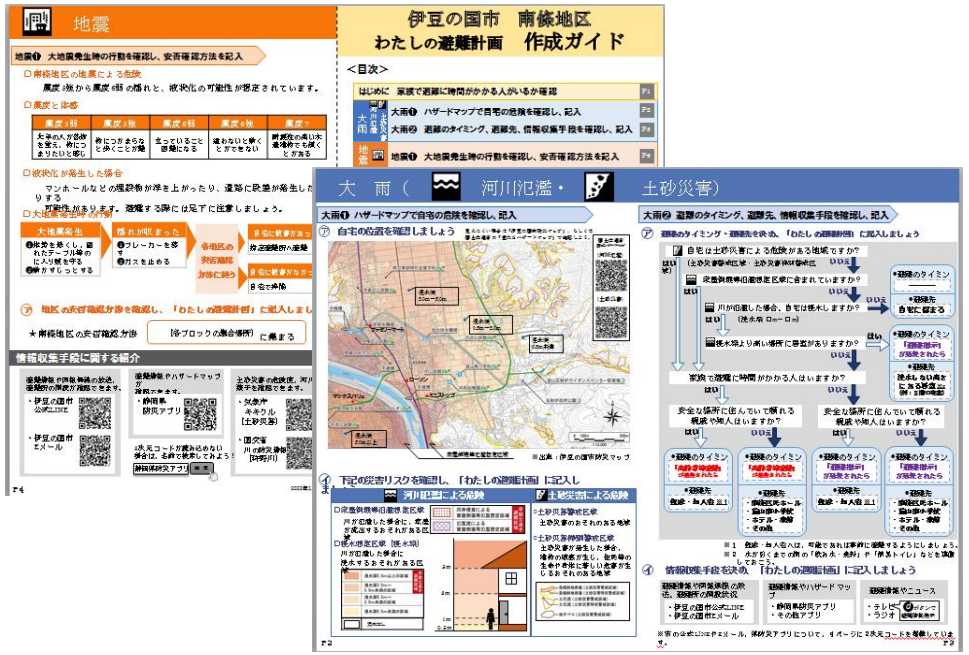


「わたしの避難計画」

令和７年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：住民一人ひとりの避難計画・情報マップの作成推進（取組番号：23）

浸水想定区域内にある市内地区へ「わたしの避難計画」の作成支援（ワークショップ）を行い、普及展開し早期避難を意識づける取り組みを行っていく。



「わたしの避難計画」

新田・原木・長崎・四日町地区内水対策勉強会 （3/3）

伊豆の国市

狩野川水系流域プロジェクトに基づく内水対策に関し、伊豆の国市原木・長崎地区、四日町地区を対象とし、関係機関による検討を深め、対策内容の拡充を図るとともに、狩野川流域における効果的かつ実効性のある内水対策を推進に資するものとするため、「内水対策勉強会」を開催している。

●参加機関

◆国土交通省沼津河川国道事務所（流域治水課）
◆静岡県交通基盤部河川砂防局（河川企画課）
◆静岡県沼津土木事務所（企画検査課）
◆静岡県東部農林事務所（農村整備課）
◆伊豆の国市（危機管理課、建設課、都市計画課、下水道課、農林課）

●開催内容

◆第６回

・日時：令和７年１月21日（火）
・場所：伊豆の国市役所３階会議室
・議事：
１．伊豆の国市　内水対策勉強会
・水災害対策プランの進捗管理
・関係課の今後の取組について
・前回勉強会と対策の検討
・次期河川整備計画の検討
・特定都市河川の指定について
２．意見交換
３．その他

第６回勉強会の様子

令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【函南町】

令和６年度取組実績

重点取組事項：（２）②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目： ハザードマップの改良、周知、活用（取組番号：16）

防災出前講座において「函南町防災マップ」の見方やマイ・タイムラインの活用方法等について、町内小学校４校、町内中学校２校、自主防災組織５組織、一般団体６団体、その他２団体の計19団体　1,071人に対して活用方法の周知を行った。

重点取組事項：（３）①水防体制に関する事項
取組項目：水防訓練の充実（取組番号：32）

消防団、自主防災組織、建設事業防災協力会等を対象に、土のう作成、土のう積み工法、消防署により身近な物を利用し、水難救助対応講習等、基礎的な水防技術等を学ぶ訓練を実施した。

令和７年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目： ハザードマップの改良、周知、活用（取組番号：16）

令和６年度に引き続き、「函南町防災マップ」の見方やマイ・タイムラインの活用方法等についての防災出前講座を実施することにより、早期避難による人的被害の軽減を目指す。
「函南町防災マップ」裏表紙の「マイ・タイムライン」を活用し、防災出前講座参加者自身の「マイ・タイムライン」を完成させる取り組みを実施する。

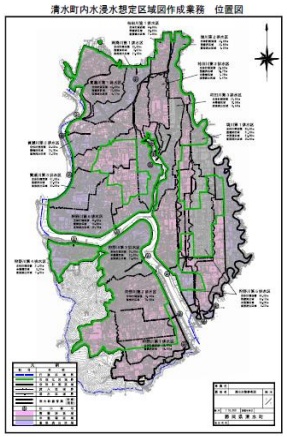
重点取組事項：水防体制に関する事項
取組項目： 水防訓練の充実（取組番号：32）

消防団、自主防災組織、建設事業防災協力会等を対象に、土のう作成、土のう積み工法、消防署による水害時の対応講習等、基礎的な水防技術等を学ぶ訓練を実施する。

令和6年度の取組実績・令和7年度の取組予定【清水町】

令和６年度取組実績

重点取組事項②洪水時における情報提供の充実
取組項目：浸水想定区域図の作成・公表
（取組番号： 15）



令和7年度の内水ハザードマップの作成に向けて、令和6年度に内水浸水想定区域図を作成し、公表した。

重点取組事項⑦治水施設整備等の促進
取組項目：堤防等河川管理施設の整備
（取組番号： 41）

豪雨時に、溢水することが多い、新川河床の浚渫工を実施した。

令和７年度取組予定

重点取組事項②洪水時における情報提供の充実
取組項目:ハザードマップの改良、周知、活用
（取組番号： 16）

水害時の住民の早期避難、安全確保のために、令和6年度に作成した、内水浸水想定区域図に基づき、避難に必要な情報を加えた内水ハザードマップを作成し、周知する。

重点取組事項⑦治水施設整備等の促進
取組項目:樋門樋管等の施設の確実な運用体制の確保
（取組番号： 48）

徳倉地区の樋管の新設に合わせ、管轄する消防団に操作説明をする。

重点取組事項⑦治水施設整備等の促進
取組項目:堤防等河川管理施設の整備
（取組番号： 41）

施工前

施工後

的場川の護岸整備を引き続き行い、河川の流下能力を高め、浸水被害を防ぐ。

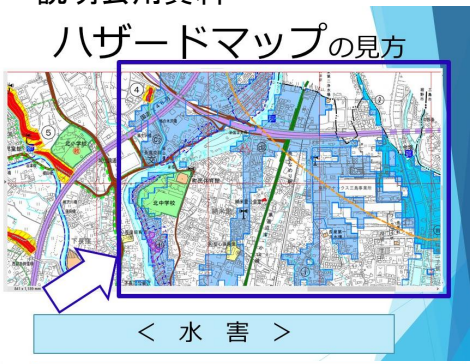
令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【長泉町】

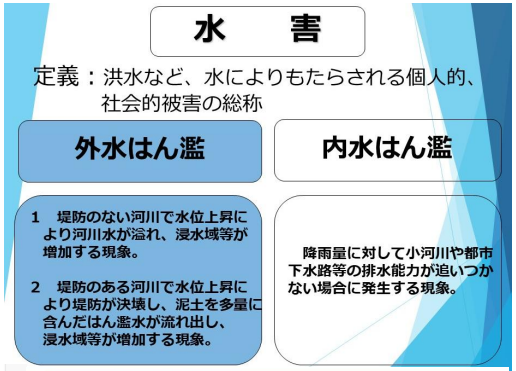
令和６年度取組実績

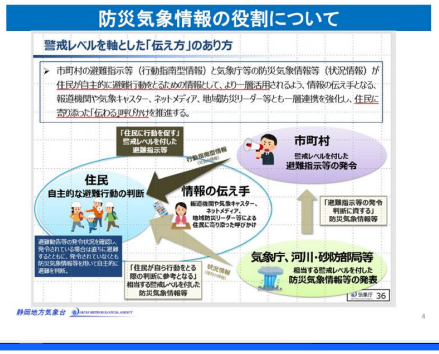
重点取組事項：①防災教育等の推進
取組項目：防災教育の促進（取組番号：２０）

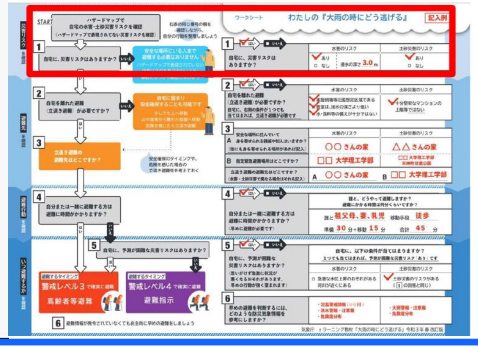
概要
　令和６年度は、浸水想定区域等を含む自治会の代表者（自治会長及び自主防災会長、24自治会計48名）を対象に「自然災害時の対応に係る説明会(実施日に警報発表により中止)」の資料を送付した。内容としては、自然災害発生のメカニズムや浸水想定区域や土砂災害警戒区域についての説明及び気象台提供の気象情報の役割やどう避難するかというもの。

説明会用資料





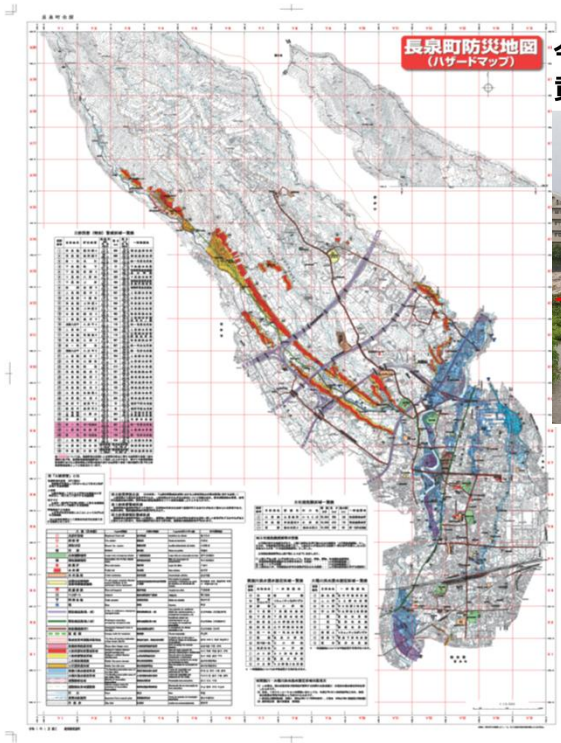




令和７年度取組予定

重点取組事項：①防災教育等の推進
取組項目：防災教育の促進（取組番号：２０）

概要
　自治会長や自主防災会長に対し、令和７年度においても「自然災害時の対応に係る説明会」を実施していく。
　内容については前年度と同様に、自然災害発生のメカニズムや浸水想定区域や土砂災害警戒区域についての説明を行うことで出水期に対しての防災意識の向上を図る。



長泉町ハザードマップ

令和6年度の取組実績・令和7年度の取組予定【小山町】 （1/1）

令和６年度取組実績

重点取組事項：防災教育等の推進
取組項目：①防災教育の促進 （取組番号：20）

概要

町内自主防災会、学校関係者、町民グループからの要請を受け、「町民講座」を開催し防災意識、スキルを積み重ね継続的に繋げる取り組みを行った。

訓練スケジュール（6月1日（土）：住民避難訓練）（案）

時間	訓練項目	担当部署等	備考
1700	集合・訓練準備（受付、誘導準備）	危機管理局	教頭先生とコンタクト
1830～1900	訓練開始（避難指示発令）	無線放送：小山消防署 金太郎メール：危機管理局 巡回放送：地域振興課（広報） 消防団第1分団	（1830：町長等来場予定）
	警察による避難誘導開始	御殿場警察署	役場前交差点
	避難者の車両による移動	自主防災会（避難）	車両を使用
	住民の検温・受付	自主防災会 避難所支援班（町職員）	受付後、体育館内へ
1900～1930	住民による避難所の構成		通路の設置／間仕切り段ボールの設置
1930	訓練支援団体の紹介	危機管理局	（支援団体等解散）
1940	防災講話	危機管理局（防災専門監）	
1955	本部長（町長）講評	本部長・危機管理局	
2000	（訓練終了）		
2000～2030	撤収	危機管理局／自主防災会／避難所支援班	体育館の資材を元の位置へ
2030	解散		

令和７年度取組予定

重点取組事項：水防訓練の充実
取組項目：土砂災害訓練の実施（取組番号32）

①住民避難訓練（５月24日夜間）

土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を持つ町内足柄地区宿区、桑木区、新柴地区（向方地区一部参加）を対象に、夕方発令された避難指示に、指定避難所となる県立小山高校体育館に避難する避難訓練を実施した。

②水防訓練（５月31日）

町内の40ある自主防災会、消防団を対象に土のう作成、土のう積み訓練、防災無線機操作確認の水防訓練を行う。（土のう訓練には自衛隊員が講師を務める。）

令和６年度の取り組み実績・令和７年度の取り組み予定【駿東伊豆消防本部】（1/1）

令和６年度取組実績

重点取組事項：水防関係者間での連携、協力に関する検討
取組項目：構成市町防災担当者連絡会議（取組番号：33）

○令和６年６月に、駿東伊豆消防本部管内の構成市町４市３町（沼津市・清水町・函南町・伊豆の国市・伊豆市・伊東市・東伊豆町）防災担当者との情報連絡会議を開催した。

○緊急消防援助隊の概要や進出拠点の必要性について再確認し、現地視察を実施した。そして、新たに２つの市で進出拠点を確保することができた。（函南町、東伊豆町）

重点取組事項：水防訓練の充実
取組項目：建設業協会等との土砂災害対応連携訓練（取組番号：32）

○令和６年９月に、関係機関との連携強化及び操作技術の高度化を目的として、建設業協会・国土交通省・警察機関（静岡県警察本部・伊豆中央警察署）・林業従事者・消防機関（駿東伊豆消防本部・静岡市消防局）において、土砂災害対応連携訓練を実施した。

○現地合同調整所運営訓練を実施し、関係機関がどのように活動を展開していくか確認することにより、さらなる連携強化が図られた。

令和７年度取組予定

重点取組事項：水防関係者間での連携、協力に関する検討
取組項目：構成市町防災担当者連絡会議（取組番号：33）

○能登半島地震を受け、応援部隊の進出拠点を複数確保することが望ましいため、引き続き構成市町との調整を進めていく。

○各構成市町防災担当者と平時から連絡を密にし、顔の見える関係を構築することで、災害時における連携強化を図る。

重点取組事項：水防訓練の充実
取組項目：建設業協会等との土砂災害対応連携訓練（取組番号：32）

○令和３年７月から重機隊の運用を開始し、熱海市土石流災害にて活動した。以後、より高度な操作技術を求め、建設業協会等に協力を依頼し、技術指導を受けている。

○令和７年度は、さらなる関係機関との連携強化及び操作技術の高度化を目的として、土砂災害対応連携訓練を計画している。

令和6年度の取組実績・令和7年度の取組予定【富士山南東消防本部】（1/1）

令和６年度取組実績

重点取組事項：消防団と合同水防訓練の実施
取組項目： 消防団との連携強化 （取組番号： 33）

消防団と消防署合同で、土のう作成訓練を実施した。また、風水害が発生したことを想定し、情報伝達訓練を行い、災害発生時の情報伝達の流れについて再確認をした。

重点取組事項：浸水域での救出訓練の実施
取組項目： 水防訓練の実施 （取組番号： 32）

災害発生時に、浸水域からの救出を想定して救命ボートを使用し水難救出訓練を実施した。

令和７年度取組予定

重点取組事項：消防団と合同訓練の実施
取組項目： 消防団との連携強化（取組番号： 33）

災害時の連携強化を目的とし、消防団と消防署合同で、土のう作成訓練及び情報伝達訓練を実施予定。各構成市町と訓練を通じて、顔の見える関係を構築し災害に備える。

重点取組事項：浸水域での救出訓練の実施
取組項目： 水防訓練の実施 （取組番号： 32）

6、7月に大雨時の河川氾濫を想定して、救命ボートを使用した水難救出訓練を実施予定。

令和6年度の取組実績・令和7年度の取組予定【御殿場市・小山町広域行政組合消防本部】(1/1)

令和６年度取組実績

重点取組事項：① 水防体制に関する事項
取組項目：水防訓練の充実（取組番号：３２）

- 毎年、出水期を迎える前の５月に、危機管理部局へ依頼し、消防団員（兼 水防団員）に対する水防訓練を行っている。
- 令和６年度は、座学として「防災マップを活用した被害想定等の確認等」、実技として「改良積み土のう工法作成要領」を実施した。

水防計画について

土のう作成

土のう積み工法

訓練講評

令和７年度取組予定

重点取組事項：① 水防体制に関する事項
取組項目：水防訓練の充実（取組番号：３２）

- 引き続き、大雨等による水災害に対して円滑な水防活動ができるよう、昨年度の未受講者を対象に訓練を実施した。
- 来年度以降も、危機管理部局と訓練内容について検討し、訓練を継続していく。

水防計画について

土のう作成

イメージTEN

無線取り扱い講習

令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【静岡県警察本部】 （1/1）

令和６年度取組実績

重点取組事項：水防関係機関との連携
取組項目：各会議等への参加 （取組番号： 33）

【警察本部】
・静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会への参加（書面開催）
・静岡県水防協議会への参加（3/18）
・菊川・天竜川水防連絡会委員会への参加（4/18）
・静岡河川事務所水防連絡会等への参加（4/21）
・狩野川洪水予報連絡会他への参加（6/13）
・狩野川タイムライン説明会（11/8）

令和７年度取組予定

重点取組事項：水防関係機関との連携
取組項目：各会議等への参加 （取組番号： 33）

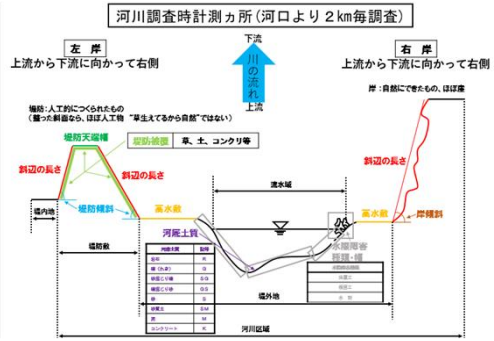
引き続き、各会議等へ積極的に参加し、水防関係者間の連携、協力に関する検討を図る。

令和6年度の取組実績・令和7年度の取組予定【第３４普通科連隊】　（1/1）

令和６年度取組実績

重点取組事項：河川の地誌調査
取組項目：　地誌調査（取組番号：　５）

34連隊では毎年各河川の調査を実施し、地誌資料の更新を行っている
令和6年度では狩野川、大井川の河口から2km毎に各種機材を使用し、流水部と河岸の調査を行った



令和７年度取組予定

重点取組事項：河川の地誌調査
取組項目：　地誌調査　（取組番号：　5）

令和７年度では同調査を富士川、黄瀬川を実施する予定である

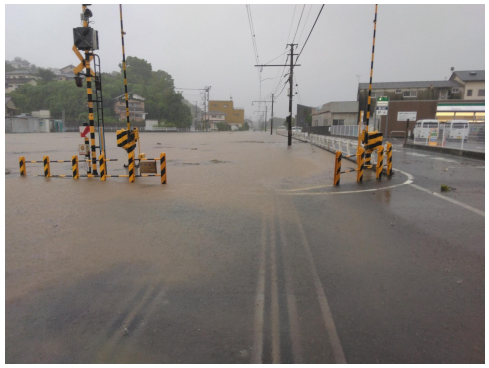
令和6年度の取組実績・令和7年度の取組予定【伊豆箱根鉄道株式会社】（1/1）

令和６年度取組実績

重点取組事項：車両退避計画
取組項目：車両退避計画を実行に移す目安の策定（取組番号：３２）

台風・線状降水帯発生時に伴う対応
１.線状降水帯予測情報が発表された場合
その予報内容とその時点における大場川の水位及び線路の冠水状況を総合的に判断し、運転区、駅、各保守区に係員の増員を手配した。
２.運行列車の車両避難
大場川（大場水位計）の水位が氾濫注意水位に達した場合及び線路の冠水状況により、運転区・運転士を待機させた。
３.車両避難の判断・決定
大場川（大場水位計）の水位が氾濫危険水位に達した場合及び沿線の雨量・水位状況・列車の在線位置等を総合的に勘案して車両の避難場所を決定し、列車を避難させた。

線路冠水前



線路冠水後

令和6年6月18日　伊豆長岡～田京間　大雨による線路冠水

令和７年度取組予定

重点取組事項：情報伝達訓練
取組項目：情報伝達訓練の実施
（取組番号：３２）

毎年9月に実施している防災訓練の情報伝達訓練について、実践を意識して緊張感をもって実施。そして、引き続き防災知識および防災応動訓練の再確認を実施。

防災訓練風景

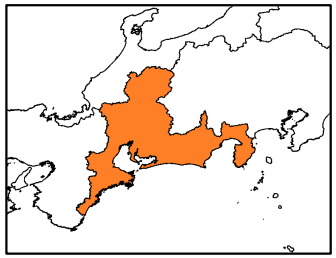
令和6度の取組実績・令和7年度の取組予定【静岡地方気象台】　（1/1）

令和６年度取組実績

重点取組事項：顕著な大雨に関する気象情報の更新
取組項目：洪水予測の強化（取組番号：25）

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけの情報が、これまでは地方単位で呼びかけていたものを、令和6年5月27日からは府県単位で呼びかけることに変更・改善した。また、静岡県の自治体等に、市町村訪問や気象防災ワークショップ等を行い、キキクルに加えて、その使い方を周知した。

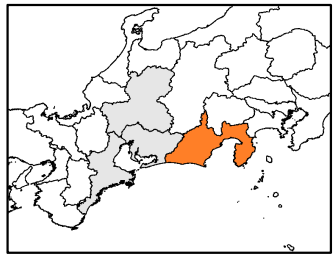
2024年3月5日「第11世代数値解析予報システム」の導入により更新前のものより約４倍の計算能力になった。これにより予報の精度が向上し、気象情報の改善が行われた。



東海地方

大雨に関する**静岡県**気象情報　第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分　静岡地方気象台発表
＜見出し＞
東海地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。
＜本文＞
…（中略）…

対象地域を絞り込んで発表



静岡県

大雨に関する**静岡県**気象情報　第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分　静岡地方気象台発表
＜見出し＞
静岡県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。
＜本文＞
…（中略）…

令和７年度取組予定

重点取組事項：気象防災情報の体系整理
取組項目：洪水予測の強化（取組番号：25）

令和8年出水期以降の防災気象情報の体系整理による情報改善に向けて、新情報への円滑な移行ができるよう静岡県内の自治体等に丁寧に説明を行う。

新しい防災気象情報では、以下の変更・改善により、受け手側の立場に立った情報となる予定。

・5段階の警戒レベルにあわせて、情報体系及び名称を整理
・警戒レベル4に相当する「レベル4〇〇危険警報」の新設

現行

警戒レベル相当情報	洪水に関する情報：洪水予報河川、水位周知河川の外水氾濫	洪水に関する情報：その他河川の外水氾濫、湛水型内水氾濫	大雨浸水に関する情報：内水氾濫	土砂災害に関する情報	高潮に関する情報
発表単位	河川ごと	市町村ごと	市町村ごと	市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと
5	氾濫発生情報	―	大雨特別警報	大雨特別警報	高潮氾濫発生情報
＜警戒レベル4までに必ず遷移＞					
4	氾濫危険情報	―	―	土砂災害警戒情報	高潮特別警報、高潮警報
3	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報（浸水害） 大雨注意報 ※警戒レベル相当情報としての位置づけなし	大雨警報（土砂災害）	警戒に切り替える可能性が高い 高潮注意報
2	氾濫注意情報	洪水注意報		大雨注意報	高潮注意報

※令和8年出水期以降の予定　改善後

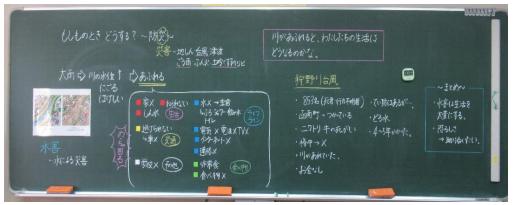
警戒レベル相当情報	洪水に関する情報「洪水危険度」：洪水予報河川の外水氾濫	大雨浸水に関する情報「大雨危険度」：内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫	土砂災害に関する情報「土砂災害危険度」	高潮に関する情報「高潮危険度」
発表単位	河川ごと	市町村ごと	市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと
5	レベル5氾濫特別警報	レベル5大雨特別警報	レベル5土砂災害特別警報	レベル5高潮特別警報
＜警戒レベル4までに必ず遷移＞				
4	レベル4氾濫危険警報	レベル4大雨危険警報	レベル4土砂災害危険警報	レベル4高潮危険警報
3	レベル3氾濫警報	レベル3大雨警報	レベル3土砂災害警報	レベル3高潮警報
2	レベル2氾濫注意報	レベル2大雨注意報	レベル2土砂災害注意報	レベル2高潮注意報

令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【沼津河川国道事務所】 （1/2）

令和6年度取組実績

重点取組事項：①防災教育等の推進
取組項目：防災教育の促進（取組番号：２０）

狩野川流域における「防災・河川環境教育」を支援した。
新規実践校１校を加えた計25の小学校で、水害への備えや避難行動等について考える授業を実施した。
令和6年度の実践校では、命を守る行動を具体化できるような教材を作成し、「命を守る大切さを伝える授業」を実施した。また、「マイ・タイムライン」の作成に関する出前講座を実施した。



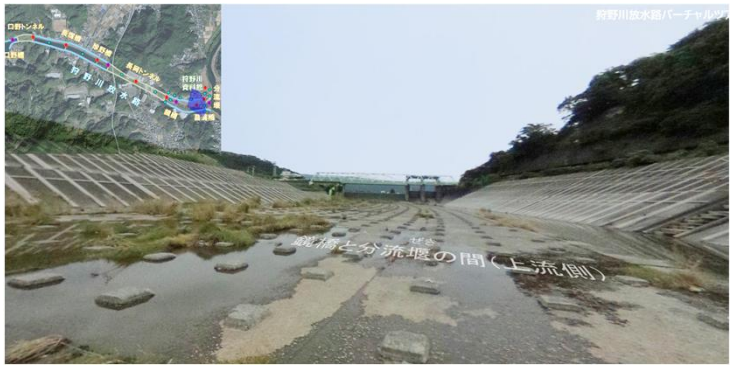
教師用指導計画の作成

授業の様子
（令和6年度新規実践協力校）

令和7年度取組予定

重点取組事項：①防災教育等の推進
取組項目：防災教育の促進（取組番号：２０）

引き続き、「防災・河川環境教育」の充実に向けた取組を実施する。
その中で、現地に赴かなくても、その場の風景を見ることができ、雰囲気をよりリアルに感じることが可能な「狩野川放水路バーチャルツアー」を展開する。資料館来訪者がタブレットから見学したり、小学校の防災教育教材として活用する。



狩野川放水路バーチャルツアー

令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【沼津河川国道事務所】 （2/2）

令和6年度取組実績

重点取組事項：⑦治水施設整備等の促進
取組項目：排水施設、排水資機材の運用方法の改善（取組番号：３７）

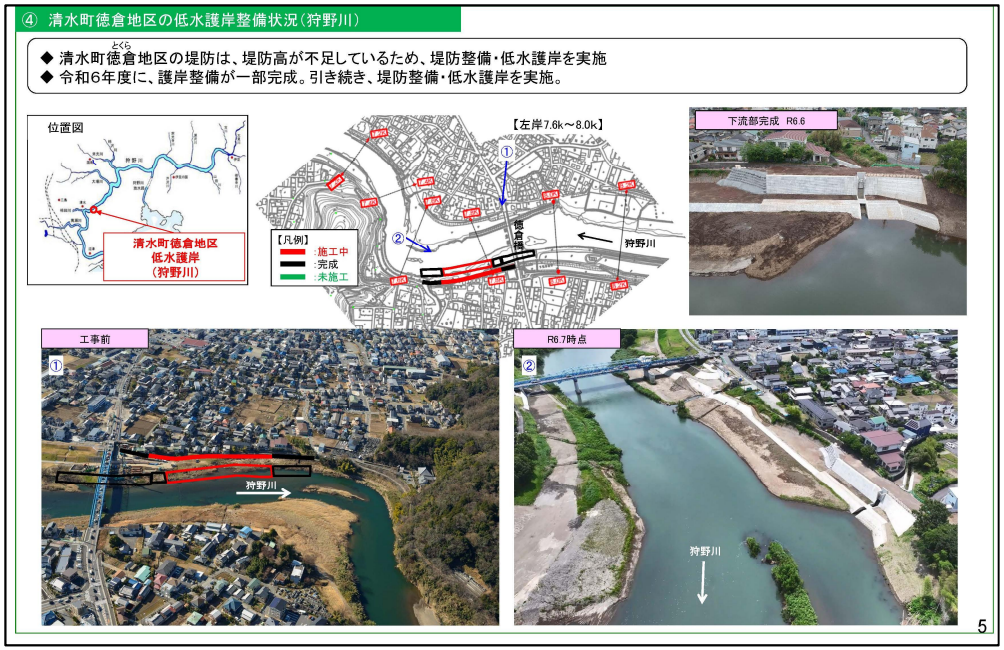
令和6年8月に観測した大雨では、狩野川放水路の放水路を分流操作を実施した。これによって、水位を約2.1m低下させることができた。

河川の維持管理状況

令和7年度取組予定

重点取組事項：⑦治水施設整備等の促進
取組項目：堤防等河川管理施設の整備（洪水氾濫を未然に防ぐ対策）（取組番号：４１）

「狩野川流域治水プロジェクト2.0」に基づき、河道掘削や堤防整備を実施する。
引き続き堤防整備・低水護岸の整備の実施、放水路の改築や既存放水路の最大限の活用により、流域の浸水被害軽減を図る。



狩野川水系河川整備計画（清水町徳倉地区の低水護岸整備）

令和6年度の取組実績・令和7年度の取組予定【静岡県危機管理部】 （1/1）

令和６年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

○「わたしの避難計画」の普及
・住民や学校向けに「わたしの避難計画」作成講座の開催、駅前での啓発活動等を実施。
・「わたしの避難計画」の作成をサポートする「わたひな普及員」を養成する講座を地域の防災役員や民間企業向けに実施。

地区別わたしの避難計画雛形（例1）

重点取組事項：①情報伝達、避難計画等に関する事項
取組項目：・ICT等を活用した洪水情報の提供（取組番号：6）

○防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上
・自主防災組織と情報共有を図るための「見える化機能」の運用。
・自主防災組織の点検及び現状把握を目的とした「防災カルテ」の普及。
・災害の情報や避難所の情報を自主防災組織からいち早く得ることを目的とした「災害状況投稿」の普及。

令和７年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

○「わたしの避難計画」の普及
・市町と連携し引き続き普及を図っていく。
・普及が円滑に進むよう地域での普及人材の育成を図るとともに、防災訓練での活用を呼びかけていく。

重点取組事項：①情報伝達、避難計画等に関する事項
取組項目：・ICT等を活用した洪水情報の提供（取組番号：6）

○防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上
・システムの改良により、避難所支援機能や防災モニター機能（災害状況投稿）の市町及び自主防災組織の利便性の向上を図り、さらなる活用を目指してく。

防災アプリ「静岡県防災」

令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【東部地域局】

令和６年度取組実績

重点取組事項：①防災教育等の促進
取組項目：防災教育の促進(取組番号：２０)ほか

風水害に関する防災教育の推進

管内の高等学校等を対象に防災出前講座を実施した。講座ではハザードマップの見方や市町が発令する避難情報の意味の解説など、風水害に関する内容なども説明している。

R6実績:106講座	16,507人

市町風水害危機管理演習の実施

管内市町の防災担当職員を対象に、防災情報の取扱いや避難指示等の発令判断など防災対応力の向上を目的に演習を実施した。

＜演習＞（令和６年６月21日）

R6実績:10市町	18人

令和７年度取組予定

重点取組事項：①防災教育等の促進
取組項目：防災教育の促進(取組番号：２０)ほか

風水害に関する防災教育の推進

令和７年度についても、児童生徒や教員を対象に、防災について理解し、日頃の備えや適切な判断ができるよう、防災出前講座を実施する。講座の内容がより効果的になるよう防災講話に加えて、DIG等のグループ演習を取り入れる。

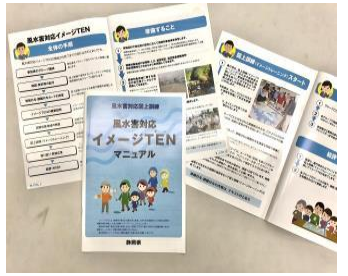
R7予定:100講座	17,000人

市町風水害危機管理演習の実施

令和７年度についても、訓練や演習を通じて、市町の防災対応力強化を図っていく。

地域における風水害対策の強化に向け、当局が作成した「風水害対応イメージTEN」を活用し、時系列を意識した演習を実施。

＜演習＞（令和７年５月27日開催）



R7予定:14市町	29人

地域住民に対する意識啓発と防災指導の実施

地域防災力を強化するため、住民一人一人の防災意識向上と避難行動の迅速化を図り、地域防災指導員等を対象に風水害への備えとその対応について継続的な啓発、指導を行っていく。令和７年度は市町からの依頼に応じ「風水害対応イメージTEN」研修を実施する予定。

令和6年度の取組実績・令和7年度の取組予定【静岡県河川砂防局】（1/1）

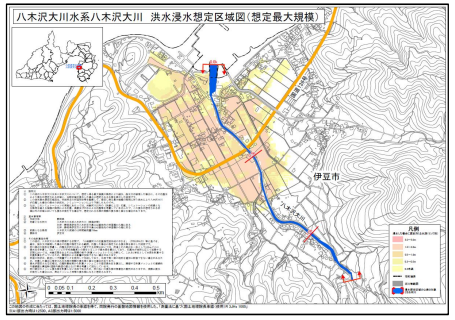
令和６年度取組実績

重点取組事項：(2)円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目： 防災教育の促進 （取組番号： 20）

概要：昭和49年７月の七夕豪雨災害から50年の節目となる機会に、流域治水シンポジウムを開催。
「流域治水」の推進と「水災害の自分事化」を図った。
（令和６年７月６日実施）

重点取組事項：(2)円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目：水害危険性の周知促進（取組番号： 05）

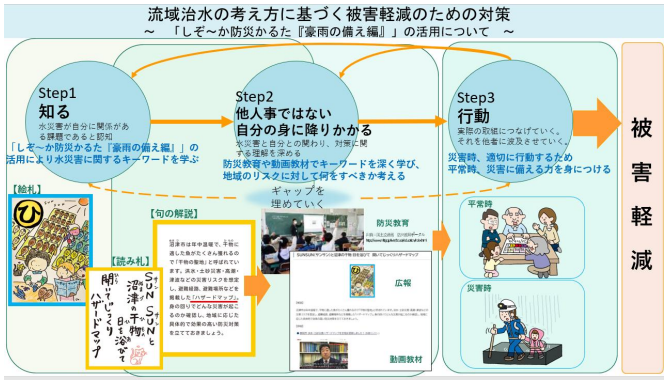
概要：公表済みの洪水浸水想定区域図について、指定対象河川すべての洪水浸水想定区域の指定を令和６年度末に行った。今後は、市町が作成する洪水ハザードマップの作成支援を実施していく。



令和７年度取組予定

重点取組事項：(2)円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目： 防災教育の促進（取組番号：20）

概要：流域治水への理解や水災害の自分事化の促進を図るため、「しぞ～か防災かるた（豪雨の備え編）」を作成した。水災害のリスクなどを自分に関係がある課題だと知るきっかけとなるよう、防災教育教材としての活用を推進していく。小中学校の出前講座や地域コミュニティで活用され、住民が水災害のリスクや備えなどを効果的に習得できることを目指す。



重点取組事項：(2)円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目： 洪水時における情報提供（取組番号：02）

概要：出水期前に水防警報等の情報を迅速かつ的確な伝達体制に万全を期すことを目的に、県管理河川を対象にした洪水対応演習を県内各土木事務所及び市町と連携して継続的に実施する。
（令和7年5月28日実施予定）

（令和６年度洪水対応演習の様子）

令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【沼津土木事務所】　（1/1）

令和６年度取組実績

重点取組事項：⑥水防活動の充実
取組項目：河川防災ステーションの整備（取組番号：29）

令和４年台風第15号及び令和５年台風第２号により、県内各地で浸水被害が発生したことから、各土木事務所において水防活動等に必要な緊急用資材の事前備蓄を順次進めている。

沼津土木事務所管内では、令和６年度に駿東地区と田方地区の２か所において水防資材ストックヤードを整備し、運用を開始した。

●駿東地区ストックヤード
整備場所：駿東郡長泉町上長窪地内
備蓄資材：割栗石V=150m3、大型土のう袋 N=100枚
根固ブロック N=100個

●田方地区ストックヤード
整備場所：田方郡函南町塚本地内
備蓄資材：割栗石V=150m3、大型土のう袋 N=100枚
根固ブロック N=100個

駿東地区ストックヤード

田方地区ストックヤード

令和７年度取組予定

重点取組事項：⑦治水施設整備等の促進
取組項目：樋門樋管等の施設の確実な運用体制の確保（取組番号：４８）

県管理の樋管の内、近年、浸水被害が発生した箇所に位置する手動ゲートとなっている施設を対象に、フラップゲートへの改築を進めている。

これにより、急な水位上昇時の操作遅れを防ぐとともに、ゲートの操作による逃げ遅れを防ぎ被害を軽減する。

令和７年度は、２施設の改築が完了する予定である。

また、それ以外の５施設の改築に向けて、設計を実施する予定である。

●R7改築完了予定
・中島樋管２号（大場川）
・中島樋管３号（御殿川）

●R7設計実施予定
・大場川の３施設
・御殿川の２施設

■着手前

■着手後

令和６年度の取組実績・令和７年度の取組予定【静岡県健康福祉部】　（1/1）

令和６年度取組実績

重点取組事項：円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目：要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施（取組番号：１４）

●避難行動要支援者の避難支援対策等に係る取組支援

・危機管理部･交通基盤部と連携して、市町防災･福祉担当職員に対して意見交換会を実施

・避難行動要支援者の避難支援対策等に係る制度を県民に理解していただくため、リーフレットを作成

・市町取組課題を解決するため、アドバイザー派遣制度を創設

市町防災･福祉担当職員向け意見交換会

令和７年度取組予定

重点取組事項：円滑かつ迅速な避難のための取組
取組項目：要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施（取組番号：１４）

●避難行動要支援者の避難支援対策等に係る取組支援

・危機管理部･交通基盤部と連携して、市町防災･福祉担当職員に対して意見交換会を実施

・改定した個別避難計画作成の手引き等を活用し、市町の避難行動要支援者の避難支援対策等に係る取組を支援

・市町取組課題を解決するため、アドバイザー派遣を実施